



統合準備委員会だより

第4号

～五稜中・大川中・桐花中・統合準備委員会～

平成26年11月25日（火）午後6時00分から桐花中学校で、第5回統合準備委員会を開催しました。

総務部会から、統合校の校名案について提案があり、それについて協議を行いました。

統合校の校名案候補を選定しました！

総務部会からは、以下の候補を市教委に校名案として要望したいとの提案があり、了承されました。

【総務部会での選考経過および提案】

総務部会では、統合校の校名は、多くの市民に愛され、親しんでいただける校名となるよう「学校の名称としてふさわしいもので、短い表現で親しみやすいもの」、「統合元となる3中学校の校名である『五稜』、『大川』、『桐花』を使用しないもの」といった条件を定め、総務部会の委員から提出された校名案の中から選考を行いました。

選考の結果、総務部会からは、以下の3候補が校名案として提案されました。

なお、部会での検討では、全国的にも知名度が高く、函館を連想させる「五稜郭」が大半の支持を得たとの報告がありました。

順位	校名案（読み方）	由来・理由
1	五稜郭 （ごりょうかく）	最も歴史を感じさせ、函館の代名詞といえる名前で、全国的に知名度が高く、将来的に子どもたちが学校を卒業した後も校名で故郷への愛着と歴史を再認識できる。また、統合校は、特別史跡「五稜郭」と「JR五稜郭駅」の中心に位置し、三校のどの地域にとっても最も身近で誇りを持ち続けることができる名前である。 函館の大切さを発信できる学校として未永く発展してほしいという願いを込めた。
2	青 稜 （せいりょう）	「稜」の字のもつ「際立ったもの」の意と、五稜郭をイメージする文字をいれることで、地域性を表すこともできる若々しさを表す名前である。
	清 稜 （せいりょう）	「稜」の「際立って筋目のついた角」という意と「清」の「けがれなくさっぱりしている、清々しい、心や行いが清く正しい」という意から、五稜郭近辺に位置する新しい学校のイメージを表した。

【準備委員会での協議】

総務部会からの提案を受け、準備委員会全体で、校名案について協議を行いました。

協議では、「わかりやすくストレート」、「(函館に)あってほしいと思う校名である」などの理由から「五稜郭」を支持する意見が多くでていました。

そのほか、「五稜郭」は、現在の五稜中の2文字を使用しているため、大川中や桐花中の関係者から、五稜中への吸収といったイメージをもたれるのではないかという意見もありましたが、これに対し、総務部会から、部会でも同様の意見がでていたが、協議の中で「五稜郭」は固有名詞であり、「五稜」と「五稜郭」は全く別の名称であるという判断をしたとの説明がありました。

最終的に、準備委員会として「五稜郭中学校」を統合校の校名案の第1候補として、他の2つとともに教育委員会へ要望することを決定しました。

今月中に、要望書としてまとめ、委員長から市教委へ提出する予定です。

提出後は、市教委での協議決定後、市議会へ提出され、議会の議決を経て、正式に校名が決定となります。

制服について

制服の検討については、生徒指導部会において、前回のアンケート等の結果も踏まえ、制服の仕様をまとめ、現在、制服業者に見本の制作を依頼しているところです。

今後、1月中に、業者プレゼンテーションを行い、候補を絞り込んだ後、準備委員会で最終選考を実施し、決定されることとなります。

なお、新しい制服は、統合年度の新入生からとなります。

検討部会活動状況

教育課程部会

統合年度の修学旅行について検討を進めています。

今後、その他の教育課程についても、3校の交流を図っていく予定です。

渉外部会

統合校のPTA規約・組織について、検討を進めています。

事務設備部会

統合に係わる備品の廃棄や移動、必要な物品についての計画を作成するなど、作業を進めています。

発行：五稜中、大川中、桐花中統合準備委員会

(事務局) 函館市立桐花中学校 Tel: 41-1332